

第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会 会議内容

会 議 名	第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会
開 催 日 時	平成29年8月9日(水) 10:00~11:00
開 催 場 所	一宮市役所本庁舎 14階大会議室
出 席 委 員 氏 名	別紙名簿のとおり (9名)
欠 席 委 員 氏 名	別紙名簿のとおり (1名)
出 席 した 市 の 職 員 の 氏 名	別紙名簿のとおり (30名)
会 議 の 議 題	1. 第1回分科会での検討事項について 2. 基本計画(案) プラン3 施策17・18について プラン4 施策19~23について
会 議 の 配 付 資 料	別添のとおり
会 議 の 経 過	発言要旨は、別添のとおり
会 議 の 公 開 ・ 非 公 開	公開にて開催 (傍聴人 1名)

第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会

◎は分科会長、○は副分科会長、他の委員は五十音順。敬称略。

出席された委員

氏名	役職等
◎ 浅井 俊彦	一宮市議会議員
○ 京 極 扶美子	一宮市議会議員
安 藤 元 二	愛知県商店街振興組合連合会一宮支部 支部長
木 村 勝 司	日本政策金融公庫一宮支店 支店長
佐 藤 英 俊	一宮市議会議員
豊 島 半 七	一宮商工会議所 会頭
服 部 良 太	一宮青年会議所 理事長
護 雅 史	名古屋大学減災連携研究センター 教授
森 律 子	一宮市男女共同参画推進懇話会 委員

欠席された委員

牛 田 幸 夫	愛知西農業協同組合 代表理事組合長
---------	-------------------

出席した市の職員

企 画 部	熊沢部長、長谷川次長、服部次長、地域ふれあい課 木村課長、古川主監、企画政策課 杉浦課長、高田専任課長、稲葉、千田、野末、神山
総 務 部	竹内次長(危機管理課長)、行政課 平松課長
福 祉 部	真野部長、高年福祉課 山田課長、介護保険課 坂野課長
こ ども 部	伊藤次長、子育て支援課 野村課長、保育課 鈴木課長
経 済 部	児嶋部長、経済振興課 村上課長、産業基盤整備室 浅井室長、農業振興課 大野課長
建 設 部	間宮部長、道路課 佐藤課長、治水課 角田課長
消 防 本 部	総務課 田中専任課長、予防課 鈴木課長
上 下 水 道 部	計画調整課 加藤課長、下水道整備課 服部課長

平成29年度 一宮市総合計画審議会

第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会 次第

日時 平成29年8月9日(水) 午前10時

会場 一宮市役所本庁舎14階 大会議室

1. 開会

2. 審議

プラン3

施策17 「交通事故を減らす取組を進めます」

施策18 「防犯対策を進めます」

プラン4

施策19 「既存産業や次世代産業の育成を支援します」

施策20 「意欲を持って働けるよう就労支援を進めます」

施策21 「女性の活躍できる環境をつくれます」

施策22 「魅力があり持続的発展性のある農業を支援します」

施策23 「幹線道路の整備を進めます」

3. その他

4. 閉会

一宮市総合計画審議会

第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会 委員名簿

◎は分科会長、○は副分科会長、他の委員は五十音順。敬称略。

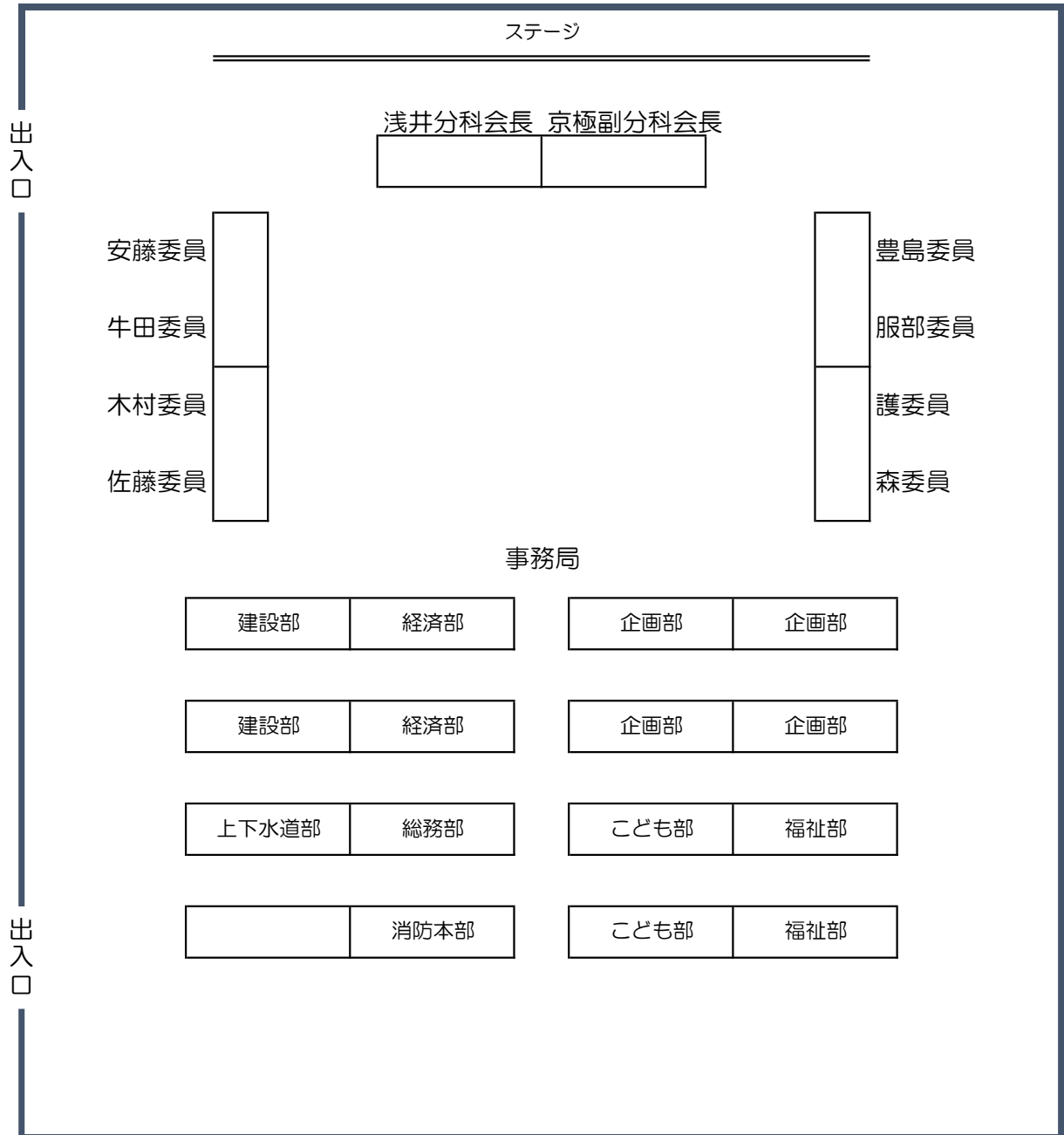
氏 名	役 職 等
◎ 浅 井 俊 彦	一宮市議会議員
○ 京 極 扶美子	一宮市議会議員
安 藤 元 二	愛知県商店街振興組合連合会一宮支部 支部長
牛 田 幸 夫	愛知西農業協同組合 代表理事組合長
木 村 勝 司	日本政策金融公庫一宮支店 支店長
佐 藤 英 俊	一宮市議会議員
豊 島 半 七	一宮商工会議所 会頭
服 部 良 太	一宮青年会議所 理事長
護 雅 史	名古屋大学減災連携研究センター 教授
森 律 子	一宮市男女共同参画推進懇話会 委員

事務局 出席者

企 画 部	熊沢部長、長谷川次長、服部次長、地域ふれあい課 木村課長、古川主監 企画政策課 杉浦課長、高田専任課長、千田、野末、神山
総 務 部	竹内次長(危機管理課長)、行政課 平松課長
福 祉 部	真野部長、高年福祉課 山田課長、介護保険課 坂野課長
こ ど も 部	伊藤次長、子育て支援課 野村課長、保育課 鈴木課長
経 済 部	児嶋部長、経済振興課 村上課長、産業基盤整備室 浅井室長、 農業振興課 大野課長
建 設 部	間宮部長、道路課 佐藤課長、治水課 角田課長
消 防 本 部	総務課 田中専任課長、予防課 鈴木課長
上 下 水 道 部	計画調整課 加藤課長、下水道整備課 服部課長

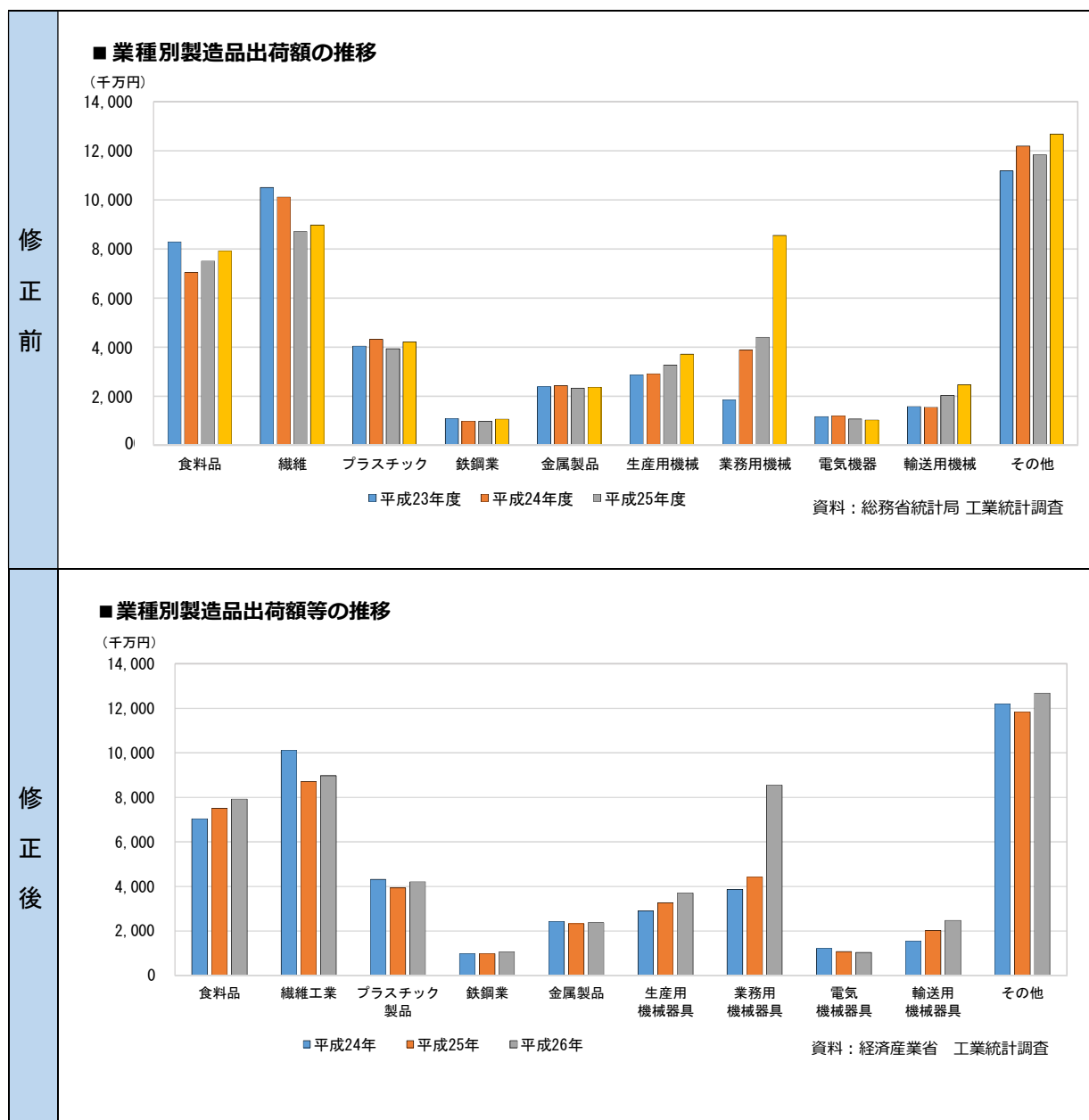
第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会

8月9日(水) 10:00～ 市役所本庁舎14階 大会議室



第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会(平成29年8月9日) 修正事項

●施策19 グラフの修正



第1回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会 検討事項報告書

開催日時	平成29年7月4日(火) 午前10時～11時10分
会場	本庁舎11階1102会議室

基本構想 序論

番号	委員からの指摘内容	回答	担当部署
1	p2「一宮市のすがた」に氾濫の記述はあるが、地震には触れられていない。	p2では本市の地形とその成り立ちを中心に述べていますので、p10「F.安全・安心な社会の構築」の【本市では】の最初の一段落を次のとおり修正します。 「過去には濃尾地震(明治24年)などの大地震があり、近い将来は南海トラフ巨大地震の発生が危惧されます。そういった中、公共建築物や民間木造住宅の耐震化に取り組んできたほか、ゲリラ豪雨や台風などの風水害に対しては、総合治水対策事業、防災ハンドブックによる啓発などを行っています。引き続き、ハードとソフトの両面で取組を進める必要があります。」	企画政策課
2	p3「産業・観光」の記述について、織物と七夕まつりだけで良いか。	●3番目に、次の一段落を追加します。 「●伝統的な産業を中心に、産業観光が注目されています。工場見学や体験型観光に取り組んでいるほか、のこぎり屋根の工場を店舗などに転用する事例もあります。また、フィルムコミッション事業により、市内の施設・風景を映画等の撮影に活用してもらえるよう支援しています。」	企画政策課
3	p8「B. リニア中央新幹線の開業」に書かれている「名古屋駅まで約10分」は逆ではないか。外から一宮へ来てもらうという視点で考えてほしい。	「名古屋駅まで約10分」を「名古屋駅から約10分」に修正します。	企画政策課
4	p10「F. 安全・安心な社会の構築」では公共建築物の耐震化なども書かれているが、住民のことも記載したほうが良い。住宅の耐震化が進むことが、安全安心なまちと言える。	【本市では】の最初の一段落を次のとおり修正します。 「過去には濃尾地震(明治24年)などの大地震があり、近い将来は南海トラフ巨大地震の発生が危惧されます。公共建築物や民間木造住宅の耐震化に取り組んできたほか、ゲリラ豪雨や台風などの風水害に対しては、総合治水対策事業、防災ハンドブックによる啓発などを行っています。引き続き、ハードとソフトの両面で取組を進める必要があります。」	企画政策課

第1回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会 検討事項報告書

5	p12「J. 厳しい財源確保」では、ネーミングライツは歩道橋など具体的に書いたほうがいい。	<p>【本市では】の本文を次のとおり修正します。</p> <p>「地方交付税における合併による増額メリットの減少などに伴い、事務・事業の効率化や『一宮市行財政改革大綱』に基づく行政改革などによって、予算の圧縮に努めています。</p> <p>これからもさまざまな市民サービスを提供していくためにも、市税収入の確保はもとより、文化・スポーツ施設などの公共施設や横断歩道橋といったインフラのネーミングライツ、市広報紙での有料広告といった税外収入の確保にも積極的に取り組みながら、より一層財政基盤を強化していく必要があります。」</p>	企画政策課
---	---	--	-------

基本構想 本論

番号	委員からの指摘内容	回答	担当部署
(6)		<p>※p21「未来ストーリー3 このまちで、生きていく！」の8～9行目「連続する震度7クラスの地震にも全く問題ないみたい」は有り得ないと、会議終了後に護委員より専門的知見から指摘がありましたので、「震度7とかの大きな地震にも大丈夫みたい」と修正します。</p>	

プラン3 施策14

番号	委員からの指摘内容	回答	担当部署
7	液状化対策は含まれているか。落橋の恐れもあるので入れてほしい。掲載されている事業に含まれているのか。	液状化による変位によって落橋する事例もあり、耐震化の事業を進める中で、液状化対策も検討してまいります。事業としては、「橋梁保全事業」に含まれています。	道 路 課
8	市内に浸水箇所があるが、書いてない。対策は十分なのか。	p39「事業展開の方向性」の4点目に、「浸水被害の軽減」として記入してありますので、修正なしとします。	治 水 課 計 画 調 整 課

第1回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会 検討事項報告書

プラン3 施策15

番号	委員からの指摘内容	回答	担当部署
9	成果指標②の目標15,000件について、一宮市の人口からどれだけの比率があればいいのか、評価は悩ましい。高齢者など支援を必要とする人を把握できるものではなく、どう考えれば良いか。	成果指標の目標数値は「あんしん・防災ねっと」登録者12,262人と防災ツイッター（H28.4.1運用開始）フォロワーの合計数としています。災害時の情報提供は、複数の手段を用いることが望ましく、今後も各種媒体の活用を考えてまいります。	危機管理課
10	災害への備えとして、教育関係との連携は無いか。連区・町内会だけでは不十分と感じる。	各学校で防災訓練や防災教育を行っているほか、学校を避難所として指定しているなどの関わりがあります。また、「事業展開の方向性」に記載している「防災啓発事業」の一環として、研修会・訓練等への児童生徒の参加を促しています。防災教育の説明を補足するため、【課題】の4点目として、次の一文を追加します。「●いつ起こるか分からない災害に備え、地域や学校での防災啓発なども必要です。」	危機管理課

プラン3 施策16

番号	委員からの指摘内容	回答	担当部署
11	一宮ならではの現状を記載しておくことが大事ではないか。	【現状】の1点目の前に次の一文を追加します。 「●12の消防署や消防出張所、25の消防分団が市内に点在しており、地域の安全・安心を守っています。」 2点目（上の追加により3番目になります）を「●建築物の（中略）複雑多様化していますが、 <u>地形的には山林のない平野であるため、消防署や消防出張所などから素早い対応が可能です。</u> 」（下線部分を追加）とします。	消防本部 総務課

発 言 要 旨	
企画部長	<p>皆様、改めましておはようございます。企画部長の熊沢でございます。まだ3名、お越しになられていない方がおみえになりますけれども、時間になりましたので、ただ今から、総合計画審議会分科会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、本当にお忙しい中、また暑い中、こうしてご出席賜りまして誠にありがとうございます。今日は天気予報によりますと、この夏一番の暑さになるということでございます。皆様方におかれましても、健康管理に十分お気をつけいただきたいと思っております。月曜日には、台風5号が、こちら一宮、東海地方を通過し、市としましても、避難準備勧告を発令して備えたところでございますが、大きな被害も聞いておりませんので、ほっと一安心というところでございます。また各地において被害が発生しているところもございまして、やはり日ごろからの準備、備えが必要だと感じているところでございます。</p> <p>さて、今日は2回目の分科会ということでございます。1回目の分科会のご意見などにつきましても、その検討内容を事前に資料配付させていただきましたので、ご確認していただければと思っております。それでは、浅井分科会長さんに取り回しの方をお願いいたします。</p>
分科会長	<p>改めまして、おはようございます。</p> <p>それでは、ただ今より、「第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会」を始めたいと思っております。</p> <p>審議に入ります前に、事務局からご報告をお願いします。</p>
企画政策課長	<p>それでは配付資料でございますが、お席に本日の次第・委員名簿・その裏面に配席図、また基本計画の修正事項についてお配りしておりますので、ご確認ください。</p> <p>また、審議会資料4の「基本構想(案)」および資料5「基本計画(案)」及び事前にお送りしました「第1回分科会の検討事項報告書」をお持ちでなければ、お申し出ください。よろしいでしょうか。事務局からは以上です。</p>
分科会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、審議に入ります前に、事務局から、第1回分科会での検討事項の回答結果が、あらかじめ委員さんに送られていると思っておりますが、そのことについて、ご質問があればお伺いいたします。</p> <p>ご意見・ご質問がある方は、挙手にてお願いいたします。</p>
分科会長	<p>ご意見も無いようでございますので、以上とさせていただきます。</p>
企画政策課長	<p>それではここで、第1回分科会の関連部署の職員は退席いたしますので、ご了承ください。</p> <p>【第1回分科会の関連部署 退席】</p>

分科会長	<p>それでは、基本計画の審議に移ります。</p> <p>まず、44 ページと 45 ページの「施策 17・交通事故を減らす取組を進めます」について、ご意見・ご質問をお願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>課題の一番下の「高齢ドライバーの事故防止のため、高齢者の運転免許証の自主返納への支援も必要です」ということで、私の地元の方は高齢者、一宮市でも高齢率の高い連区でございます。こういう話を出すと必ず言われるのが、交通が充実しとったら返納しますよとすぐ言われるんですけど、ここの施策のところでは「自主返納の支援も必要です」とまでしかやっぱり言えないんでしょうか。</p>
地域ふれあい課長	<p>こちらの施策につきましては、交通事故を減らす取組ということで、主に市民の皆さんに対する啓発活動、高齢者ドライバーの事故防止という観点で、高齢者の運転免許証の自主返納をするという事業を行っているということになります。この運転免許証の自主返納を進めていく上では、やはり今、委員さんがおっしゃったように、それに代わる、運転免許証を返納された方が不自由なく公共交通機関を利用する体制、仕組みが必要となってくる、関連してくるわけでございますが、ここの施策については、公共交通を推進するという別の施策がありますので、そちらの方で検討させていただきたいと思っております。</p>
佐藤委員	<p>ありがとうございます。もう二つだけ。</p> <p>「交通事故を減らす取組を進めます」という中には、いろいろ子どもの交通安全教室とかあるんですが、交通事故の起きやすい場所に関しての調査、どこの地区にもあると思うんですけども、そこらへんの調査をするとか、推進しますとか、それには地元、例えば町会長の協力を得てとか、地元の意見を聞きつつとか確認するという施策はないのでしょうか。</p>
地域ふれあい課長	<p>市の方では、交通死亡事故等が発生しますと、建設部の方で現地確認をしまして、交通安全施設に関する状況の確認あるいは警察を含めまして、そういった施設等の確認を行っているところでございます。例えば小学校とか、地域とかというところで、交通事故の発生しやすい所の、いわゆるマップ等を作成して、地域の住民の方に全戸配布するとか、そういった事業も、地域づくり協議会で実施されているところがございますので、こういったところで交通事故の発生が多い地区を把握し、住民の方にお知らせして交通安全に取り組んでいくというようなことが行政、それから地域住民の方で、両方で行われているところでございます。</p>
佐藤委員	<p>もう一つ、45 ページの成果指標の交通事故における死傷者数、目標値 34 年度、2,210 人という数字が出てはいるんですけど、この数字というのは目標値にしてはちょっと多い感じがするんですけど、目標はもっと低くいけばいいんじゃないかなという気持ちがあるんですけど、どうい</p>

	う数字なんでしょう。
地域ふれあい課長	この目標値の設定でございますが、平成23年から27年の5年間では、513人の減ということでございますので、これを年平均にしまして、平成33年までの6年間で620人の減というような形で設定させていただきまして、2,210人という数字とさせていただきます。
森委員	44ページの現状なんですけど、最初から「愛知県は」「愛知県は」というふうな2つ「愛知県は」と出ているんですけども、愛知県がこういう状態だっているのは分かるんです。その中で、一宮市はどうだっているのが無いと、市としてどうするというのが、課題に結びつきにくいのかなと思うのですがいかがでしょう。
地域ふれあい課主監	委員さんからご指摘ございましたとおり「愛知県は」ということで、一宮の状況が出ていないということでございます。一宮につきましては皆さんご承知のとおりかと思うんですが、例年ワースト上位の方でございます。本年度につきましては、現在ワースト1位という交通事故死者数でございますので、こちらの方も検討いたしまして、一宮の状況なども加えさせていただきたいと思っております。
豊島委員	いろいろ現状と課題には書いてあるんですけども、特に一宮は老人の自転車・自動車の無謀運転がちょっと多いんで、強調してほしいなということと、当然ということで書いてないのか知りませんが、警察とは一緒にやるのか、市だけでやるのか。市の行事だから警察との協力とか、そういうことはあえて一切触れないということなのか。普通なら、警察と協力してやらないといけない事業ばかりだと思うんですが。市のしきたりが分からないんで。
地域ふれあい課長	委員さんのおっしゃるとおりでございます。当然、交通事故対策につきましては、警察、それから市民の方と協力して行っていく形になります。施策17につきましては、市の計画ということでこのような形で、警察との、あるいは市民との共同事業というようなことはあえて記載していないということでございます。今、委員さんからのご指摘もございましたので、一度検討させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
分科会長	警察とタイアップしてやっているんじゃないの。新聞等で見ていると。
地域ふれあい課長	おっしゃるとおり、警察あるいは市民の方と一緒に取り組んでおります。この記載につきましては、私どもの方でも検討させていただいて、そのような記載が適当であろうとは考えておりますので、持ち帰って検討させていただきたいと思っております。

服部委員	<p>ちょっと一つ教えていただきたいことがあるんですけども。こちらに交通事故発生件数等で数値が載っているんですが、4か年載っていきまして、25年をピークに、26・27と減っているんですが、減っている要因って何かあるんでしょうか。何か施策を講じたから減っているであつたりとか、分析しているんでしょうか。教えていただけますでしょうか。</p>
地域ふれあい課主監	<p>委員さんのご質問の減っている要因としまして、明確なものはございませんけども、平成27年は自転車の事故が多かったものですから、自転車に対する注意・警告を警察の方で集中的に行っていました。しかしながら平成28年は微増しております。人身事故の人数ですね。そして本年はまた、それより増加傾向にあるということですので、これといった的確な解決策が見つかったというわけではございません。</p>
服部委員	<p>減らす取組を進めるということで、こちら議題が挙がっておりますので、せっかくですから、どうして増える減るところと、減らすためには何をしなければいけないのかというところで、ここに挙がっている事業展開の方向性で、運動という形になっているんですけども、ハード面は大丈夫なのかということも不安に思うところがあるんですが。そのあたりは先ほどご答弁いただいた公共交通の部分になるんでしょうかね。</p>
企画政策課長	<p>今ハード面の質問がございましたが、こちらにつきましてはまた別の施策で、例えば「公共交通網の整備を進めます」が施策12にあつたりとかですね、あと「歩行者や自転車が安全に通行できる交通環境を整備します」というのが施策13にございます。こちらでは主にソフトという形でご審議いただきたいと思えます。</p>
服部委員	<p>先ほど申し上げたように、どうやって減らすかというところを主眼に置いていただいて、事業展開を考えていただければと思いますので、よろしくお願いします。</p>
木村委員	<p>成果指標の「交通事故による死傷者数」ということですが、これは量の指標であるんですけども、これを死亡者数と二つに分けるというのも一つではないかと思えます。交通事故を量で計るということもあるんですが、質で計ることもあると思えますので、2,210人というのが34年度の目標値ですけども、死亡者数が現状の14人から、さらに倍増とかしてると、これは内容的にはどうかなと、いくら死傷者数全体が減っていてもですね、死亡者数が増えていると、どう評価したらいいかというのがありますので、別々の指標にされたらどうかなということに触れさせていただきました。</p>
地域ふれあい課長	<p>委員さんおっしゃるとおりですね、死傷者数一本になっておりますので、分かりやすくするためもありまして、死者あるいは負傷者、分</p>

<p>護委員</p>	<p>けまして記載の方、検討させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>先ほどのグラフのところですけど、ひよっとしたら 34 ページとラップするかもしれないんですが、どういう年齢層が多いかという円グラフですね、もう少し、発生件数を小さくして、何歳から何歳の人が事故が多いのか、文章では分かるんですけど、パッと目で見えて分かるようなものがあるといいかな。もし可能であれば、その原因がどういふところにあるか、自転車とか書いてあるんですけど、グラフで見ると、どういふ原因が多くて、年齢層はどこが多いのか一目で分かる方がいいかなと。34 ページは日本全国、内閣府なので。これではなくて、一宮市の現状があると、より視覚的に捉えられるのではないかと思います。</p>
<p>地域ふれあい課長</p>	<p>おっしゃるとおりですね。分かりやすい表記に私どもの方で検討させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>分科会長</p>	<p>よろしいですか。ありがとうございます。他に無いようでございますので、「施策 17」については以上とさせていただきます。</p> <p>それでは「施策 18」に移りたいと思います。46 ページと 47 ページの「施策 18・防犯対策を進めます」について、ご意見・ご質問等をお願いいたします。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>自主防犯パトロール隊が 46 ページに出てくるんですけど、47 ページに青色防犯パトロール車というのが出るんですけど、自主防犯パトロール隊というのが今 136 団体あるということなんですけど、自主防犯パトロール隊が各連区にあるということなんですか。</p>
<p>地域ふれあい課主監</p>	<p>自主防犯パトロール隊が各連区にさまざまな形でございまして、児童の見守りを行っている方たちなどもおみえになりまして、その方が市民パトロール隊として一宮市に登録していただいて、その中から青色回転灯を着けた車でパトロールをされるというようなことになっております。各連区にございます。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>全部を称して、自主防犯パトロール隊という名前を付けているということでしょうか。</p>
<p>地域ふれあい課主監</p>	<p>そうでございます。</p>
<p>分科会長</p>	<p>その他の方よろしいですか。ありがとうございます。他に無いようでございますので、「施策 18」については以上とさせていただきます。</p> <p>それでは、次に、50 ページと 51 ページの「施策 19・既存産業や次世代産業の育成を支援します」について、まず、事務局から、修正事</p>

<p>経済振興課長</p>	<p>項の説明をお願いいたします。</p> <p>50 ページと、お手元に本日配付させていただきました「第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会 修正事項」という資料をお願いいたします。50 ページの施策 19 の下のグラフを、本日配付させていただいた資料の下段、修正後のおり修正させていただきます。対象年数を4年分から3年分へと修正いたしました。これは当初5年に一度の経済センサス活動調査、平成23年のものなのですが、それと、それ以外の年に行われます工業統計調査、こちらと合体させてグラフを作成しておりました。工業統計調査が元々平成23年のときには調査されなかったんですけども、というのも経済センサス活動調査というのがあるので、そちらがあれば工業統計調査はいらないということで実施されなかったんですけども、その5年後の平成28年のときには工業統計調査も行われたということで、それであれば工業統計調査につきましては、毎年行われるということですので、出典を一つにした方が分かりやすいというふうに考えまして、この工業統計調査の一つの方に注を伴うということに伴った修正でございます。あわせてこれに伴いまして、表題にありますように、「業種別製造品出荷額等」の「等」を入れさせていただいたり、凡例のところになりますけれども、例えば修正前が「繊維」となっているものが修正後「繊維工業」、「プラスチック」を「プラスチック製品」と直すように、日本産業分類の正式名称に統一させていただくとか、あと出典として表記してある資料のところですけども、経済センサス活動調査の方は総務省統計局になるんですけども、工業統計調査につきましては経済産業省ということで、こちらの方を、経済産業省工業統計調査と修正させていただくものです。また、前回のもので誤植ではありましたが、「平成23年度」「平成24年度」というような年度の表示になっておりましたけれども、調査期間は正しくは「年」ということでございますので、あわせて修正させていただくというものでございます。以上、施策19のグラフの修正をさせていただきます。数値等に誤りがあったわけではなく、より分かりやすく、かつデータの注の統一という内容の修正になっておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>分科会長</p>	<p>ただ今の説明も含め、「施策19」についてのご意見・ご質問をお願いいたします。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>既存産業や次世代産業という文面の中に、小売業は入っておられるのでしょうか、ということをお聞きしたいです。もし小売業も入っておられるのであれば、一宮市には商店街、特に法人格を持った振興組合が18あります。そして尾西・木曽川の方にも、旧一宮市の中の18商店街以外にも、たくさんの商店街がございます。これらについて、現状と課題というところには、商店街という言葉が一つも入ってございません。商店街というのは、小売業が大半を占めております。施策の中で小売業の今後のことも、現状と課題として書いていただくよう</p>

<p>経済振興課長</p>	<p>なことはできないかなという質問でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員のおっしゃられたとおりですね、商店街という文字自体は入っておりませんが、こういった全ての産業ということで捉えておられて、商店街の方も内容的には含んでいるというふうに思っております。特に51ページの事業展開の方向性の中に「商工団体等事業費補助事業」ということで挙げさせていただいています、この商工団体等の中には商店街さんの方、当然入っております。しかしながら、先ほどおっしゃられたように単語等、その言葉自体は直接的には出てきておりませんので、商店街もしくは商業・小売業というような表現は考えさせていただくということで、検討したいと思っております。</p>
<p>護委員</p>	<p>先ほどもそうなんですけど、下のグラフっていうのは、全国ですよ。総務省なので。</p>
<p>経済振興課長</p>	<p>出典は工業統計調査ということで全国になりますけども、その中の一宮分を取り出してあります。</p>
<p>護委員</p>	<p>そうしたら、ちゃんとタイトルに書いといていただいた方が。一宮市を載せるのか、愛知県なのか、国なのか、他のもそうなんですけど、パッと見てその出典からはなかなか、一宮市の計画なので前提がそうなら全部一宮市で統一していただきたいですけども、タイトルをちゃんと書いていただかないと誤解を招くような気がします。</p>
<p>経済振興課長</p>	<p>グラフの中に、分かるように表記させていただきたいと思っております。</p>
<p>護委員</p>	<p>ここの施策の次世代産業というのは、どういうものを狙われているのか、グラフからはそれが見えてこないんです。どういうところの、例えばそれは、日本の、世界のかもかもしれませんが、そういう中で一宮の状況がこうあって、次世代の産業とはどういうものを目指していくのか、どこにも情報が無いんですけど、何かそれを示すようなものとか、グラフとかある方が良く思うんですが、いかがでしょうか。</p>
<p>産業基盤整備室長</p>	<p>言葉としては次世代ということでひっくるめてあるんですけども、内容的には、航空宇宙関連とか、新エネルギーとですね、ロボットとか、というのが次世代ということになります。これも時によって、流れ・動きがいろいろあるものですから、あえて個々のものは出せないんですけども、今後期待できる産業を次世代ということで、そういうものをいち早く一宮も取り入れたいということで書かせていただきました。</p>
<p>護委員</p>	<p>ロボット産業とか、言葉があった方が分かりやすいのかなという気はするんですけど、それに限らないということであれば、いいかも</p>

	<p>れません。何かモヤッとしています。</p>
木村委員	<p>これも成果指標なんですが、「③企業の新增設の件数」ということですが、これは年間でしょうか。それと、企業というのは法人だけではなく、個人企業も含まれると理解してよろしいでしょうか。</p>
産業基盤整備室長	<p>年間ではないんですけれども、奨励金を出している関係で、累積になります。個人企業も含まれるかという件ですけれども、奨励金が一定の投資金額以上という条件がございますので、ある程度、個人企業だとしても規模が大きくないと奨励金の方に上がってこないものですから、ここの数字には申し訳ないですけれども入らないということになります。</p>
木村委員	<p>そうすると、単純に新しく事業所ができたというカウントではなくて、奨励金を受けられる企業が累積で何件か、そういう指標なんですね。</p>
産業基盤整備室長	<p>そのとおりです。こちらの方もですね、新しくできたというのは、なかなか把握できませんので、奨励金を出す状況で新しく、新設・増設というところで初めて数字として上げることができますので、すべての企業を含めているのではなくて、あくまでも一宮市の奨励金制度を利用された企業ということになります。</p>
木村委員	<p>分かりました。ちょっと不思議に思ったのは、②の法人数、これたぶん経済センサスか何かでしようけども、こちらでは34年度に9,000事業所ということは、450 増えるわけですよ。下のほうは、新增設は36とか40なんで、あれ、これでは全然②の方が達成しないのでは、違うレベルの話かなと思ったので、確認させていただきました。</p>
豊島委員	<p>今の木村さんの③は分かりやすく書かないと分からないと思います。意見じゃなくて、とつても抽象的に、いっぱい網羅されていますので、ぜひ実行は具体的にやっていただきたいということだけです。</p>
護委員	<p>企業のBCPの支援はどうされているんですか。将来なんですけど、産業を守るという意味では、中小企業さんのBCPもなかなか難しいところなんですけど、そのあたりは施策としてはどうでしょうか。</p>
経済振興課長	<p>ご指摘のように、BCPの重要性は市の方も認識しておりまして、各事業所さんの方にも作成を啓発しているところがございます。商工会議所さんと一体になって進めていくということで、やってはいるんですけれども、なかなか反応が今一つというのが現状であります。</p>
護委員	<p>なので、入れないということでしょうか。</p>

経済振興課長	<p>確かに必要であることは認識しております。あえて外しているというわけでもないんですけども、入れた方がよろしいというご意見を今いただきましたので、BCPの今後のさらにと組について記載すべきかどうかも含めて、検討させていただければと思います。</p>
護委員	<p>課題のところでも入れていただければ。</p>
分科会長	<p>よろしいですか。それでは、他に無いようでございますので、「施策19」については、以上とさせていただきます。</p> <p>それでは、次の「施策20」に移りたいと思います。</p> <p>52ページと53ページの「施策20・意欲を持って働けるよう就労支援を進めます」について、ご意見・ご質問をお願いいたします。</p>
豊島委員	<p>来年度からの10年計画ですね。そうすると、もう課題のところでは、70歳の就業もある程度視野に入っていないとダメなのかなあというふうに思います。65歳が整いつつあるなら、もう10年後は70歳も働く、元気に働く環境づくりというものも必要かなあと思っています。企業もたぶんそうなると思います。65歳まで定年にして、70歳まで再雇用になっていくと思うので、流れとしては、10年後の課題があるならば、そういうのも触れてもおかしくないのかなと思います。</p>
経済振興課長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。確かにここ数年、65歳が一気に70歳というような流れになっているかと思っていますので、そういった文言に検討していきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
分科会長	<p>よろしいですか。ありがとうございます。他に無いようでございますので、「施策20」については、以上とさせていただきます。</p> <p>次に「施策21」に移りたいと思います。</p> <p>54ページと55ページの「施策21・女性の活躍できる環境をつくります」について、ご意見・ご質問をお願いしたいと思います。</p>
森委員	<p>成果指標の①で「育児休業取得率（男性）」が現状値0.6%、目標値13.0%というふうになっているんですけど、具体的に、なかなか実際男性が育児休業というのは難しいと思うんですが、施策はどのようにお考えなのでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>市内部のことであれば目標を達成できるかもしれませんが、なかなか民間の方にもとりますと、地道なPR活動というか、啓発でやっていくしかないのかなあと感じております。</p>
豊島委員	<p>市役所には具体的な目標はあるのですか。</p>
企画部長	<p>市では、特定事業主行動計画というものを作りまして、目標値は定めています。数値的には非常に小さい数字でございますけれども、目</p>

豊島委員	<p>標値をもって進めているのが現状でございます。</p> <p>市の職員は何千人いるか分かりませんが、市が率先してやるとかね、そういうことでも謳って、なかなか民間企業は男女比率がそれぞれ全然違いますんでね、各企業に目標を割り当てできないんで、例えば市はこういうふうで達成していきますとか、だいたいの指標の数字を入れてもいいのかなと。圧倒的に一番の社員数を持った団体ですので、一宮市の中で市は。</p>
分科会長	<p>市も女性課長も多くなってきたよ。</p> <p>よろしいですか。ありがとうございます。他に無いようでございますので、「施策 21」については、以上とさせていただきます。</p> <p>それでは、次の「施策 22」に移りたいと思います。</p> <p>56 ページと 57 ページの「施策 22・魅力があり持続的発展性のある農業を支援します」について、ご意見・ご質問をお願いいたします。</p>
豊島委員	<p>生産緑地の問題って、一宮市は問題にはなっていないんですか。これ確か、あと 5 年くらいですかね。期限のこと詳しくないけども。結構、市のいろんな施策に影響与えるのかなあと。あるいは財源的にも影響を与えるのかな、いろんなことちょっと思っているんですが。</p>
農業振興課長	<p>委員さんおっしゃるとおり、生産緑地の面、市街化区域内にある農地を、市街化であっても保全していこうということである制度でございます。確か平成 3 年から制度ができて、30 年間は農地として保全しようということで、平成 33 年には期限が来るということで、その期限が来たときにどう取り扱うかというような問題がございます。一気にその生産緑地を解除してしまうということになりますと、開発という面については、土地が提供されるという面はありますが、地価の暴落であったりとか、固定資産税の問題であったりとか、いろいろ問題は出てくるかというのが考えるところでございます。まだ今、具体的にどうというのはありませんけど、基本的には制度を延長する方向で、国の方でも進んでいると聞いております。</p>
豊島委員	<p>この年度に期限が来る話だと思ったので、いいのかなあと。</p>
分科会長	<p>来年から、受付中止の説明は。</p>
農業振興課長	<p>こちら 57 ページ、「関連する個別計画」という 3 つのうち一番上に「一宮市農業振興地域整備計画」というのがございます。これは、土地というのは、市街化区域と市街化調整区域に分かれておまして、調整区域の中に、農業振興地域というのがあります。調整区域ほとんどを指すわけですが、さらにその中に、農地が集团的に存在している場所を農用地として色分けがしてあります。調整区域の農業振興地域の中で農業を守っていくべき農地として保存していくべき</p>

	<p>地域、それから一宮としましては、企業誘致に力を入れてます。都市近郊に入っておりますので、企業誘致ということも重要な課題であるということで、それをバランスよく進めてかなければいけない。それを一宮農業振興地域整備計画の中で盛り込んでいこうということで、9年振りということになりますけど、見直しすることになります。この見直しをするにあたって、農用地によくある、お家を建てられるだとか、今お話申し上げた企業誘致で、企業が進出して開発したりとか、そういうような申し出、申請ですね、年4回受け付けております。その受け付けを来年度につきましては、3回停止させていただきます。開発の面積等も勘案しながら、現状はどうだ、これからどうかというようなことを検討していくわけでございますので、毎年4回行っている申し出を受け付けてしまうと、中身にまたいろんな修正が出たりということで、スムーズな計画の策定に支障があるということで、年4回ある農用地の除外の申し出、5月、8月、11月、2月と期間限ってますけど、そのうち来年度5月、8月、11月分を受け付けを中止させていただくという予定をしております。これにつきましては、また広報で皆さんに、それから行政書士とか業者さんとも関わりもありますので、そういった方への周知については今進めているところでございます。</p>
護委員	<p>ブランド化っていうようなことは、ここには何も書いてないですけど、お考えでしょうか。何か一つの方法ではあるかなと思いますけど。</p>
農業振興課長	<p>ブランド化はあります。例えばお米であれば、この地方「あいちのかおり」というのもありますし、一宮市の農産物で言えば、ナスとかネギとか浮野の卵であったりとか木曾川のアユであったりとか、ブランドをもって、付加価値を付けようというのはあります。そういうものにつきましては、広く農協さんとも協力しながら、ブランド化についても進めていこうと考えております。</p>
護委員	<p>施策に含まれていると考えてよろしいんですね。</p>
農業振興課長	<p>方向性の3つ目「農家の経営安定の推進」というところの一つに、一番最初に「一宮産農産物・農産加工品販売促進事業」があります。市の方では市民の方に物産展とか開いておりますので、そういう中でも農産物、今のような市のブランドになるような農産物を提供して進めていきます。</p>
経済部長	<p>今、課長も申しましたけど「一宮産農産物・農産加工品販売促進事業」というところに、ブランド化という文字をあえて入れていこうかなあと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
護委員	<p>そういうものが広まると、若い人もやってみようかなと、そう思いました。</p>

分科会長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。他に無いようでございますので、「施策 22」については、以上とさせていただきます。</p> <p>では、「施策 23」に移りたいと思います。58 ページと 59 ページの「施策 23・幹線道路の整備を進めます」について、ご意見・ご質問をお願いいたします。</p>
護委員	<p>この幹線道路は災害時の緊急出動道路も含めてだと思っんですが、よくあるのは市の中では緊急道路となっていて隣の市に行くとなつてないことがあったりするんで、物が運べないということもあるようなので、そのあたりどこかに、周辺市町との連携とか言葉を入れていただいて、周辺と調整していただくことが大事で、どうしても市だけのこと、うちはここだけでいいんだということになっちゃうので、言葉を入れていただいて、周辺の市町と積極的に、岐阜県もありますが、積極的にやってほしいと思います。</p>
道路課長	<p>おっしゃるとおりでございますので、ここに明記させていただきたいなと思います。</p>
豊島委員	<p>名岐道路が予算化になりましたよね。その中で国から、一宮市の特に渋滞緩和のいろんな施策をもっと具体的にということ、常に言われていますよね。名岐道路の延伸のことが書いてないんですけども、関連して既存の幹線道路の渋滞緩和策をどのようにしていくかということ、具体的に確か出すように言われているはずなので、もうちょっとその辺を、10 年後くらいにできるか、10 年後には建設しているはずなんで、特に 155 号等の幹線道路は、名岐道路にぶつかるというところとか、渋滞で困っているところ分かっていると思うので、もうちょっと具体的なものがないと。市長さんが名岐道路で一生懸命やられているので、幹線道路の整備にもうちょっと具体的に触れた方がよろしいのかなあと。</p>
建設部長	<p>委員さんからありましたように、名岐道路につきましては、今年度より調査ということで始めております。その中で、渋滞対策協議会ということをもちまして、各幹線道路の渋滞を、名岐道路を整備することであわせもって改善していくというところで進んでおります。書きぶりにつきましては、名岐道路に伴う幹線道路の再配備等の中で渋滞が改善されていきますので、書き方は少し工夫がいるんですけども、その点を含み検討させていただきまして、ご提出させていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
分科会長	<p>ありがとうございました。他に無いようでございますので、「施策 23」については、以上とさせていただきます。</p> <p>本日予定しておりました審議は終了いたしました。事務局から次回の予定を報告していただけますか。</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>熱心なご審議ありがとうございました。改めて通知をお送りしますが、次回、「第3回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会」は、8月28日(月)の午後2時から、会場はちょっと変わらしまして、ファッションデザインセンター、1階展示ホールとなっております。</p> <p>審議していただく範囲は、基本計画 マネジメント1 施策1と2、ページ数で言いますと、74ページから77ページをお願いしたいと思います。本日、積み残しとなった検討事項につきましては、次回の会議の前に皆様にお送りさせていただきます。また、今回は、第7次総合計画(案)の、市民意見提出制度での意見の募集結果を、ご報告させていただく予定でございます。なお、他の分科会のスケジュールは、すでに報告させていただいておりますが、他の分科会について、ご意見等がありましたら、8月21日(月)までに事務局へ提出してください。事務局からは、以上でございます。</p>
<p>分科会長</p>	<p>ただ今、事務局からの報告のとおり、次回の分科会は、残りの施策を審議いただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。それでは、これもちまして本日の「第2回 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会」を閉会といたします。皆さん、どうもありがとうございました。</p>